

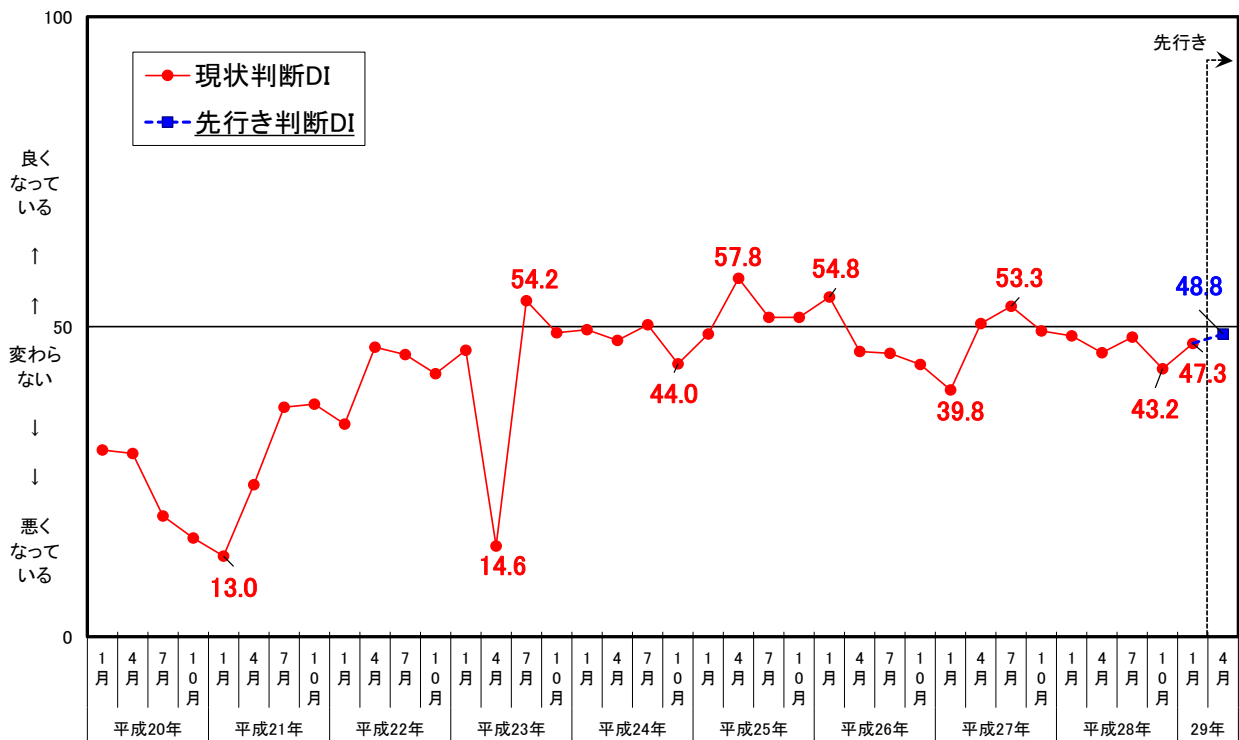
青森県景気ウォッチャー調査 (平成29年1月期)

調査期間 平成29年1月4日～1月13日 回答率100%

概 況

1月期の景気の現状判断DIは、前期比4.1ポイント増加の47.3と、6期連続で横ばいを示す50を下回った。
先行き判断DIは、現状判断DIと比べて1.5ポイント増加の48.8となった。

景気現状判断DIの推移・今後の先行き判断DI



平成29年2月

青森県企画政策部統計分析課

青森県景気ウォッチャー調査について

1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

(1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地 区	対 象 地 域	調 査 客 体 数			
		合計	家計	企業	雇用
東 青 津 軽 県 南 下 北	青森市とその周辺部	30	23	4	3
	弘前市、黒石市、五所川原市とその周辺部	30	22	6	2
	八戸市、十和田市、三沢市とその周辺部	30	21	7	2
	むつ市とその周辺部	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小 売	コンビニ、百貨店、スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、一般小売店、商店街、卸売業
	飲 食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、パチンコ、競輪場、ガソリンスタンド
	住 宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

(2) 調査事項

- ① 3カ月前と比べた景気の現状判断とその理由
 - ② 3カ月後の景気の先行き判断とその理由
- 参考1 景気の現状判断
参考2 その他自由意見

(3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、以下の方法により算出している。

景気の現状または先行きに対する5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じ算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が(景気は)「変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方角性をあらわす目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県企画政策部統計分析課 統計情報分析グループ
T E L 017-734-9166 (直通) F A X 017-734-8038

1. 結果概要

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が2.0ポイント増加、「やや良くなっている」が0.1ポイント減少、「変わらない」が10.5ポイント増加、「やや悪くなっている」が12.3ポイント減少、「悪くなっている」が0.1ポイント減少したことにより、全体では4.1ポイント増加の47.3となり、景気の横ばいを示す50を6期連続で下回った。

判断理由では、倒産件数の減少や人材採用に力を入れる企業の増加などプラス面をあげる声があった一方で、景気が良くなっている実感がない、季節商品の動きが鈍い、年末商戦の盛り上がり不足などといったマイナス面をあげる声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で2.8ポイント増加、企業関連で7.0ポイント増加、雇用関連で10.7ポイント増加と、特に雇用関連で大きく増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、下北地区を除く3地区でポイントが増加した。県南地区では景気の横ばいを示す50となった。

(2) 3カ月後の景気の先行き判断DI

① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなる」が1.0ポイント減少、「やや良くなる」が2.8ポイント増加、「変わらない」が3.6ポイント減少、「やや悪くなる」が4.8ポイント増加、「悪くなる」が3.1ポイント減少したことにより、全体では0.6ポイント増加の48.8となり、景気の横ばいを示す50を3期連続で下回った。

判断理由では、新生活の始まりや購入意欲の出始めなどに期待するという声があった一方で、世界経済の先行きに対する不透明感、消費動向に変化のない状態、円安の家計への影響などを懸念する声があった。

② 分野別の動向

前期調査と比べて、家計関連全体で2.7ポイント減少、企業関連で6.9ポイント増加、雇用関連で17.8ポイント増加と、特に雇用関連で大きく増加した。

③ 地区別の動向

前期調査と比べて、津軽地区を除く3地区でポイントが増加した。東青地区では景気の横ばいを示す50を上回った。

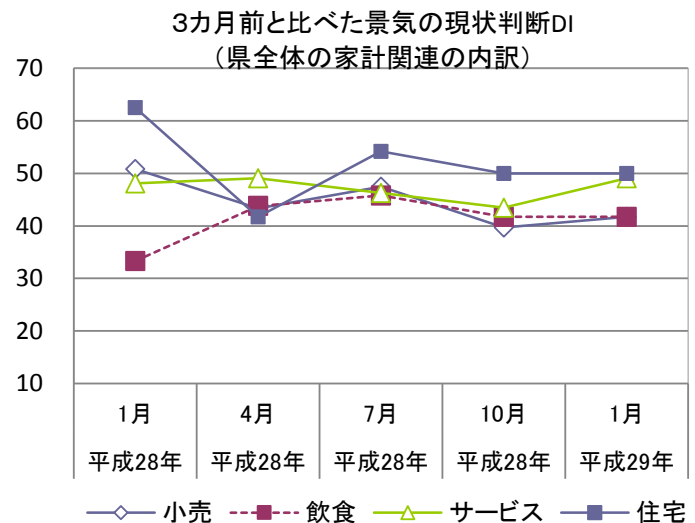
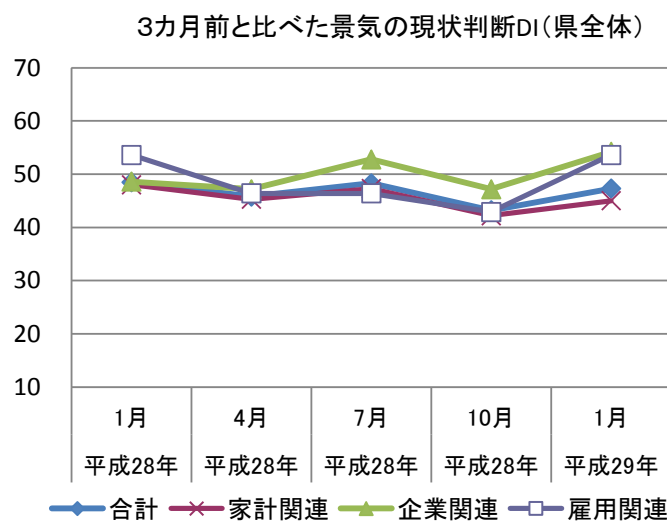
2. 県全体の動向

(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

①DI

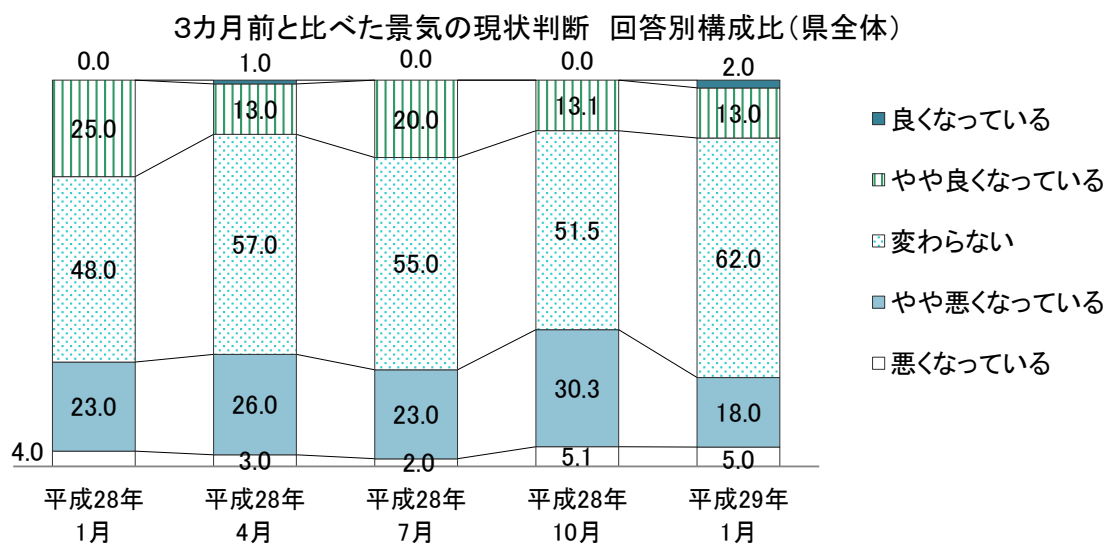
n = 100

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	48.5	45.8	48.3	43.2	47.3	4.1
家計関連	48.0	45.3	47.3	42.2	45.0	2.8
小売	50.8	43.3	47.5	39.7	41.7	2.0
飲食	33.3	43.8	45.8	41.7	41.7	0.0
サービス	48.1	49.1	46.3	43.5	49.1	5.6
住宅	62.5	41.7	54.2	50.0	50.0	0.0
企業関連	48.6	47.2	52.8	47.2	54.2	7.0
雇用関連	53.6	46.4	46.4	42.9	53.6	10.7



②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	1.0	0.0	0.0	2.0	2.0
やや良くなっている	25.0	13.0	20.0	13.1	13.0	▲ 0.1
変わらない	48.0	57.0	55.0	51.5	62.0	10.5
やや悪くなっている	23.0	26.0	23.0	30.3	18.0	▲ 12.3
悪くなっている	4.0	3.0	2.0	5.1	5.0	▲ 0.1

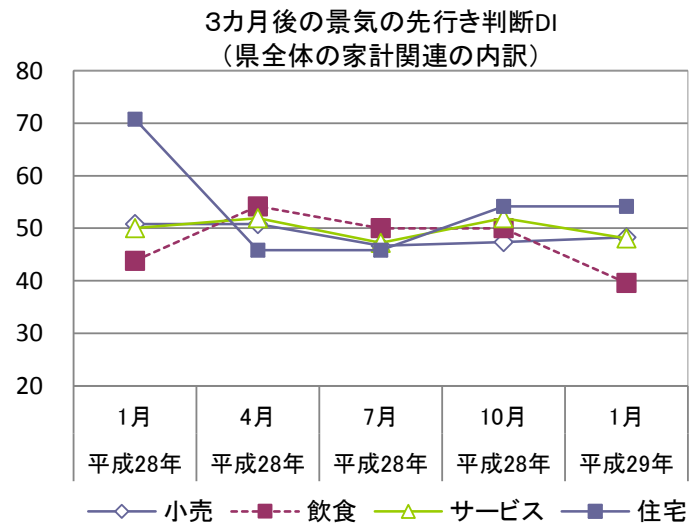
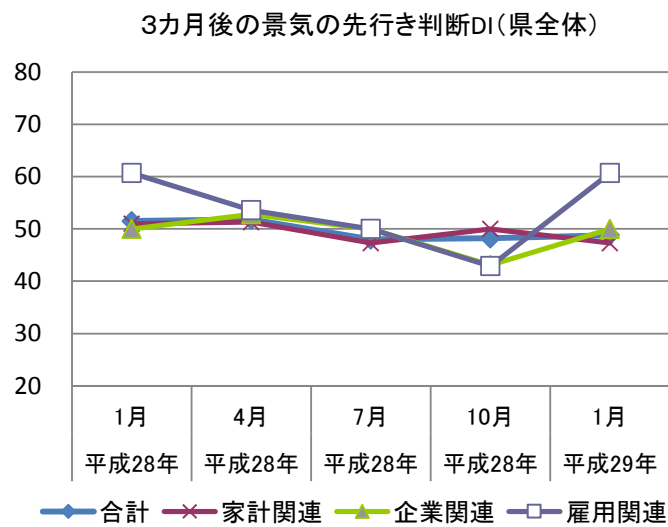


(2) 3カ月後の景気の先行き判断

①DI

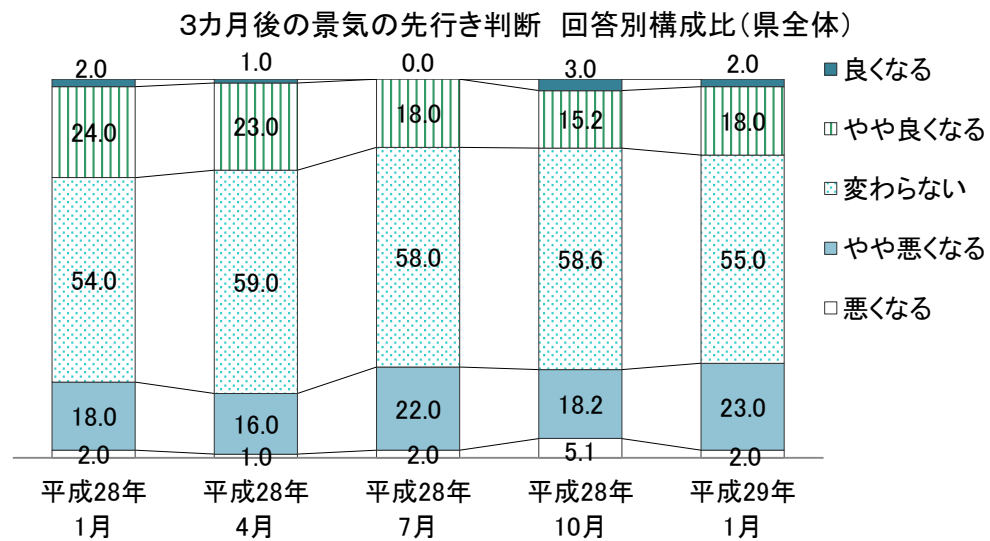
n = 100

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	51.5	51.8	48.0	48.2	48.8	0.6
家計関連	51.0	51.3	47.3	50.0	47.3	▲ 2.7
小売	50.8	50.8	46.7	47.4	48.3	0.9
飲食	43.8	54.2	50.0	50.0	39.6	▲ 10.4
サービス	50.0	51.9	47.2	51.9	48.1	▲ 3.8
住宅	70.8	45.8	45.8	54.2	54.2	0.0
企業関連	50.0	52.8	50.0	43.1	50.0	6.9
雇用関連	60.7	53.6	50.0	42.9	60.7	17.8



②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなる	2.0	1.0	0.0	3.0	2.0	▲ 1.0
やや良くなる	24.0	23.0	18.0	15.2	18.0	2.8
変わらない	54.0	59.0	58.0	58.6	55.0	▲ 3.6
やや悪くなる	18.0	16.0	22.0	18.2	23.0	4.8
悪くなる	2.0	1.0	2.0	5.1	2.0	▲ 3.1



3. 地区別の動向

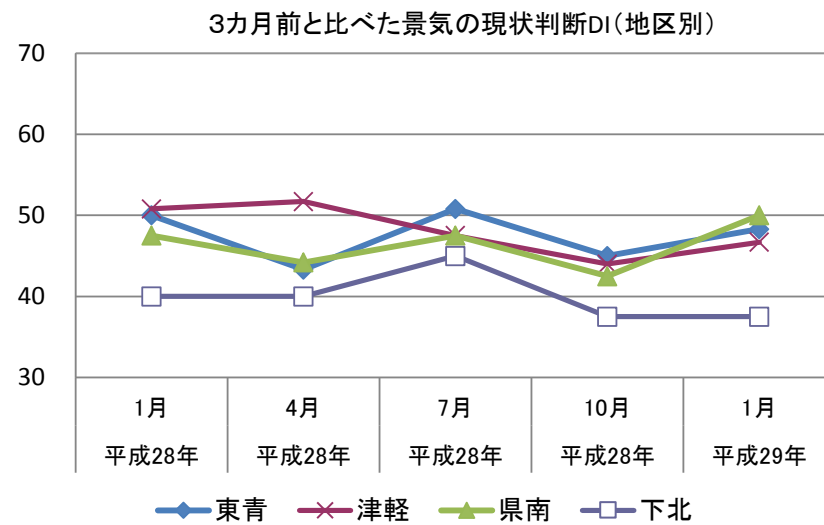
(1) 3カ月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

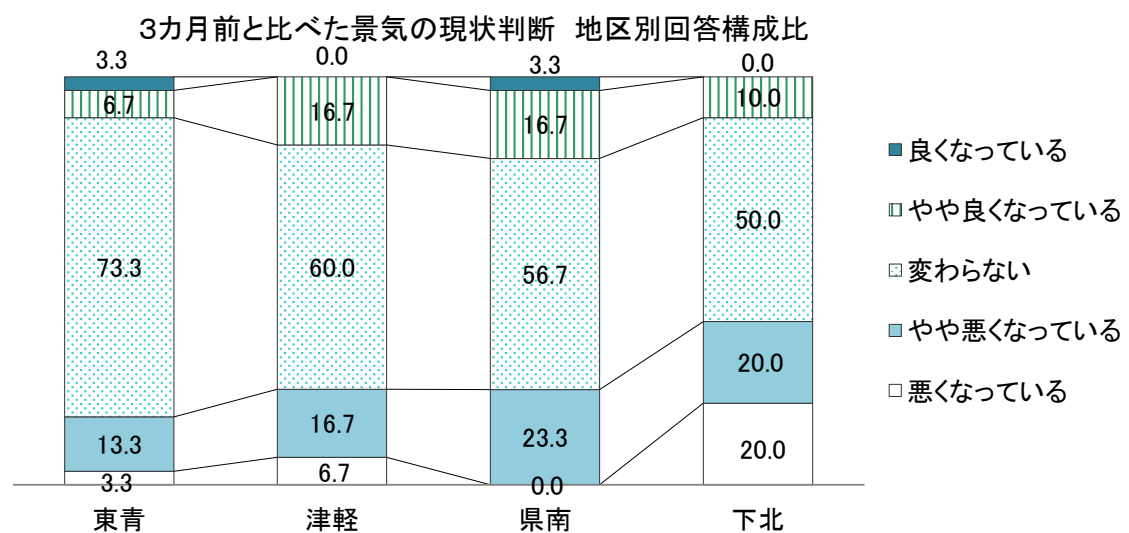
n = 100

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	48.5	45.8	48.3	43.2	47.3	4.1
東青	50.0	43.3	50.8	45.0	48.3	3.3
津軽	50.8	51.7	47.5	44.0	46.7	2.7
県南	47.5	44.2	47.5	42.5	50.0	7.5
下北	40.0	40.0	45.0	37.5	37.5	0.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなっている	3.3	0.0	3.3	0.0
やや良くなっている	6.7	16.7	16.7	10.0
変わらない	73.3	60.0	56.7	50.0
やや悪くなっている	13.3	16.7	23.3	20.0
悪くなっている	3.3	6.7	0.0	20.0

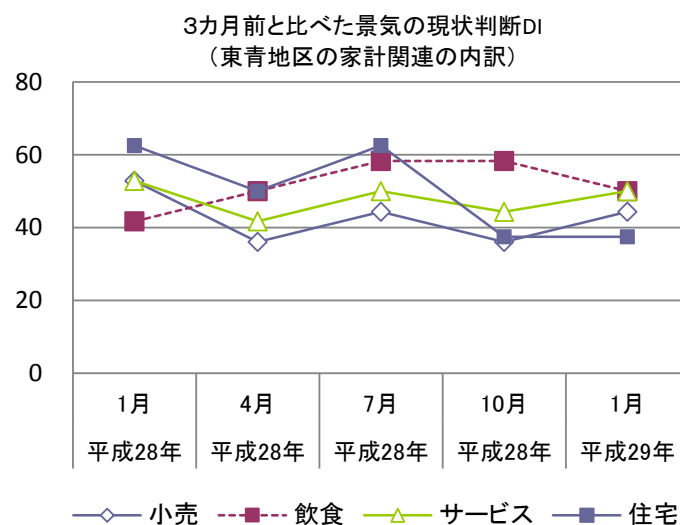
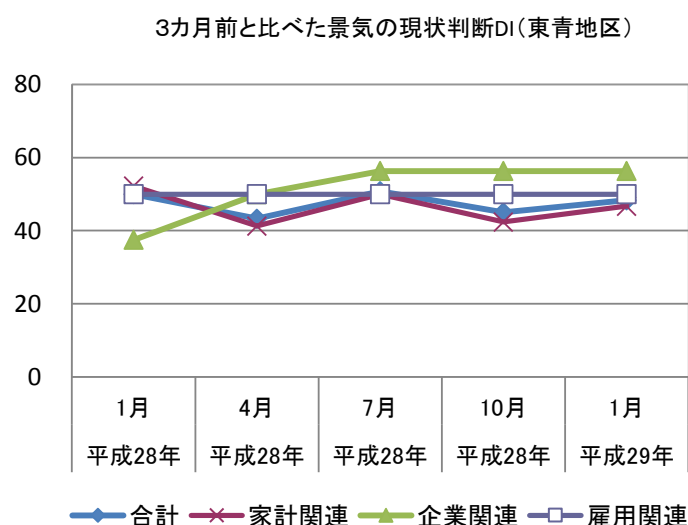


<東青地区>

①DI

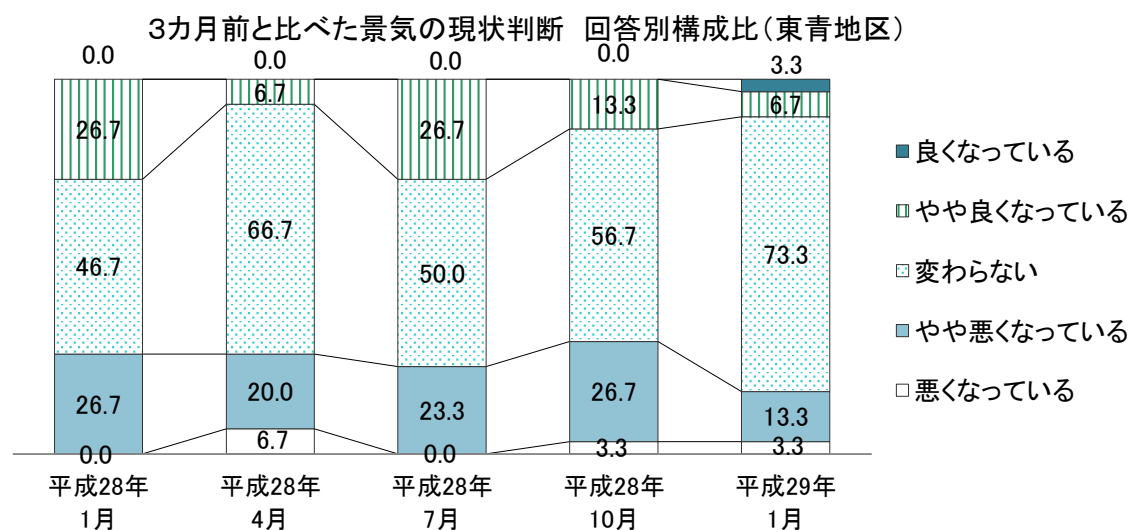
n = 30

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	50.0	43.3	50.8	45.0	48.3	3.3
家計関連	52.2	41.3	50.0	42.4	46.7	4.3
小売	52.8	36.1	44.4	36.1	44.4	8.3
飲食	41.7	50.0	58.3	58.3	50.0	▲ 8.3
サービス	52.8	41.7	50.0	44.4	50.0	5.6
住宅	62.5	50.0	62.5	37.5	37.5	0.0
企業関連	37.5	50.0	56.3	56.3	56.3	0.0
雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0



②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	26.7	6.7	26.7	13.3	6.7	▲ 6.6
変わらない	46.7	66.7	50.0	56.7	73.3	16.6
やや悪くなっている	26.7	20.0	23.3	26.7	13.3	▲ 13.4
悪くなっている	0.0	6.7	0.0	3.3	3.3	0.0



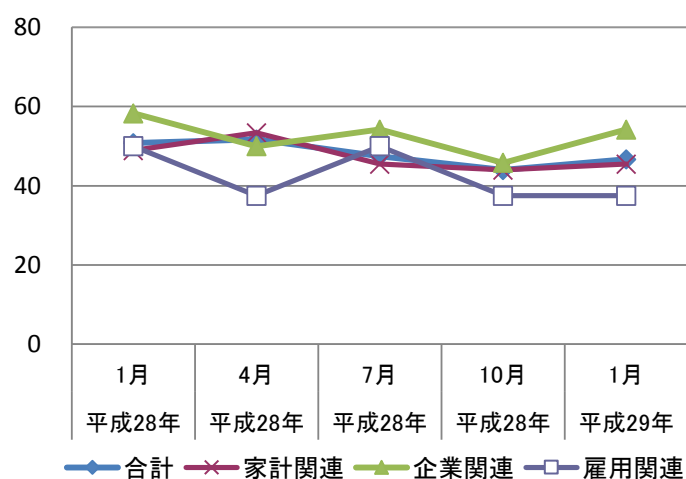
< 津軽地区 >

① D I

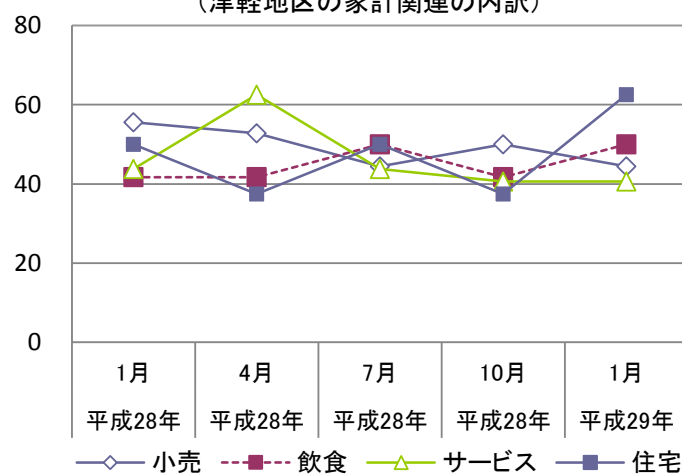
n = 30

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	50.8	51.7	47.5	44.0	46.7	2.7
家計関連	48.9	53.4	45.5	44.0	45.5	1.5
小売	55.6	52.8	44.4	50.0	44.4	▲ 5.6
飲食	41.7	41.7	50.0	41.7	50.0	8.3
サービス	43.8	62.5	43.8	40.6	40.6	0.0
住宅	50.0	37.5	50.0	37.5	62.5	25.0
企業関連	58.3	50.0	54.2	45.8	54.2	8.4
雇用関連	50.0	37.5	50.0	37.5	37.5	0.0

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



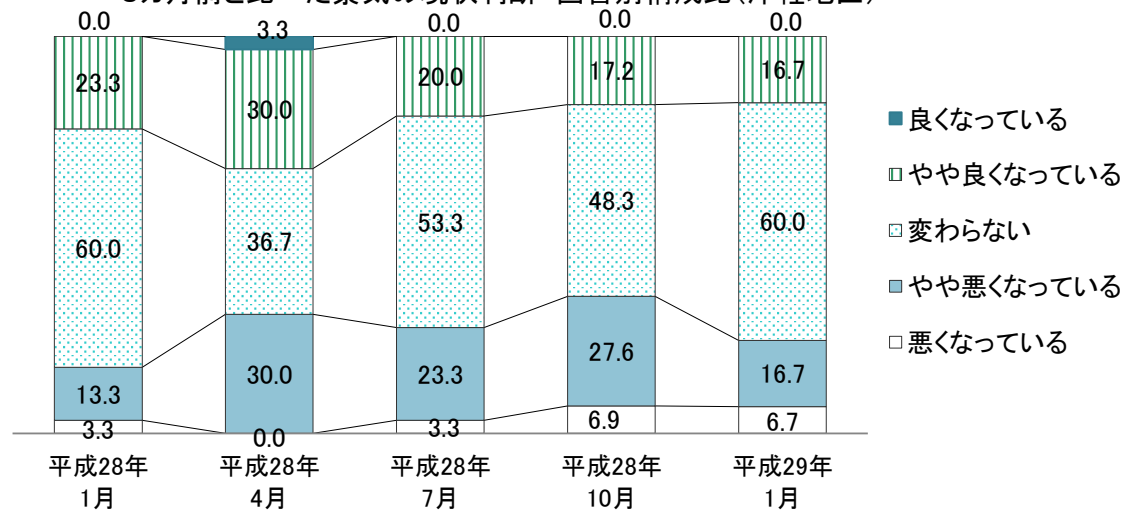
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	23.3	30.0	20.0	17.2	16.7	▲ 0.5
変わらない	60.0	36.7	53.3	48.3	60.0	11.7
やや悪くなっている	13.3	30.0	23.3	27.6	16.7	▲ 10.9
悪くなっている	3.3	0.0	3.3	6.9	6.7	▲ 0.2

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区)



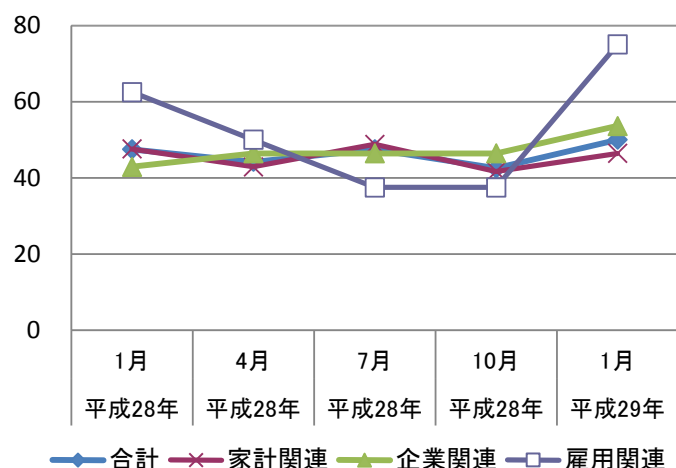
< 県南地区 >

① D I

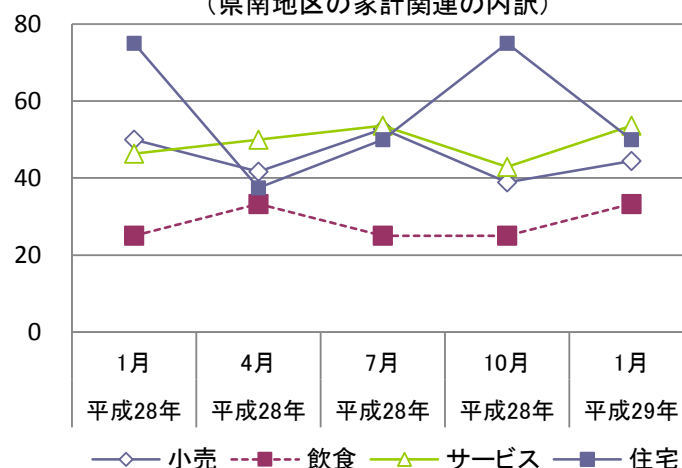
n = 30

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	47.5	44.2	47.5	42.5	50.0	7.5
家計関連	47.6	42.9	48.8	41.7	46.4	4.7
小売	50.0	41.7	52.8	38.9	44.4	5.5
飲食	25.0	33.3	25.0	25.0	33.3	8.3
サービス	46.4	50.0	53.6	42.9	53.6	10.7
住宅	75.0	37.5	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0
企業関連	42.9	46.4	46.4	46.4	53.6	7.2
雇用関連	62.5	50.0	37.5	37.5	75.0	37.5

3カ月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



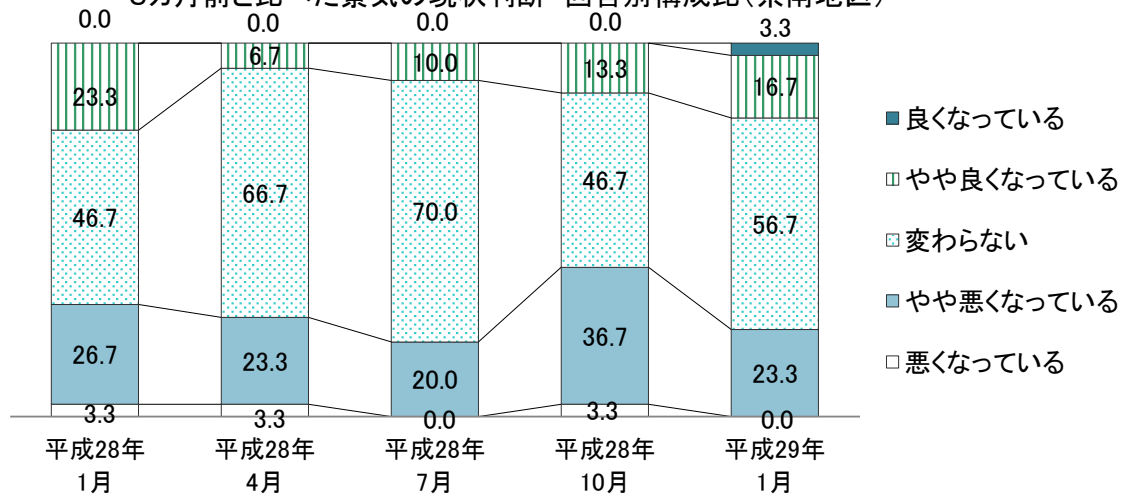
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	3.3
やや良くなっている	23.3	6.7	10.0	13.3	16.7	3.4
変わらない	46.7	66.7	70.0	46.7	56.7	10.0
やや悪くなっている	26.7	23.3	20.0	36.7	23.3	▲ 13.4
悪くなっている	3.3	3.3	0.0	3.3	0.0	▲ 3.3

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)



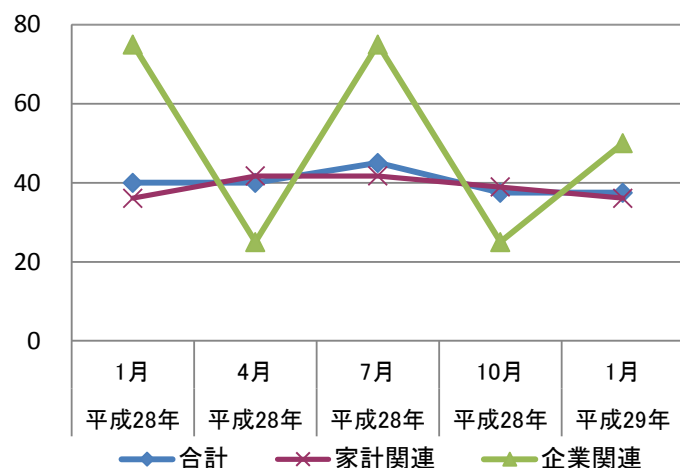
<下北地区>（参考）

①DI

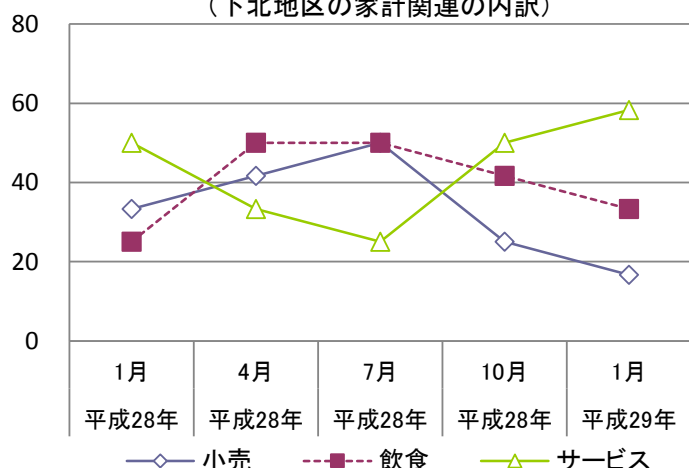
n = 10

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	40.0	40.0	45.0	37.5	37.5	0.0
家計関連	36.1	41.7	41.7	38.9	36.1	▲ 2.8
小売	33.3	41.7	50.0	25.0	16.7	▲ 8.3
飲食	25.0	50.0	50.0	41.7	33.3	▲ 8.4
サービス	50.0	33.3	25.0	50.0	58.3	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	25.0	75.0	25.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月前と比べた景気の現状判断DI（下北地区）



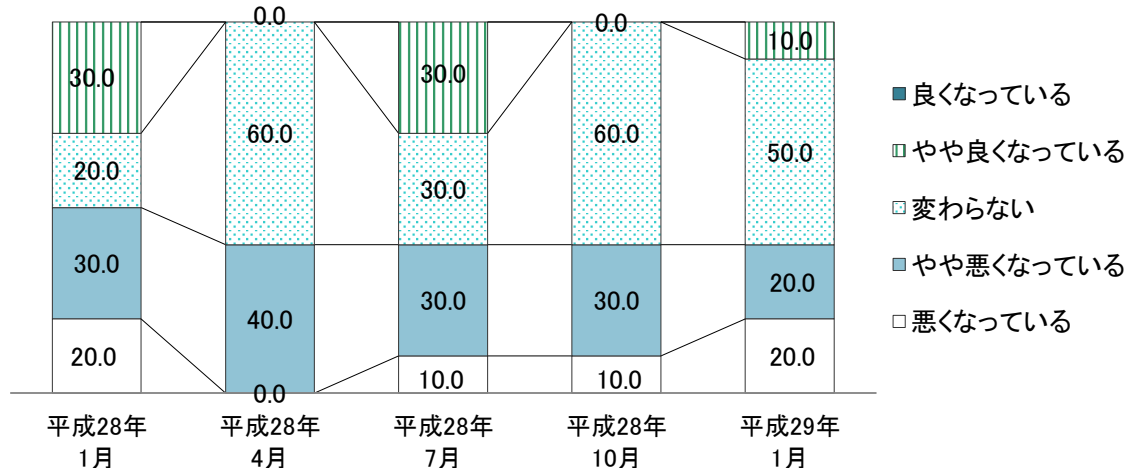
3カ月前と比べた景気の現状判断DI
（下北地区の家計関連の内訳）



②回答別構成比（％）

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	30.0	0.0	30.0	0.0	10.0	10.0
変わらない	20.0	60.0	30.0	60.0	50.0	▲ 10.0
やや悪くなっている	30.0	40.0	30.0	30.0	20.0	▲ 10.0
悪くなっている	20.0	0.0	10.0	10.0	20.0	10.0

3カ月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比（下北地区）



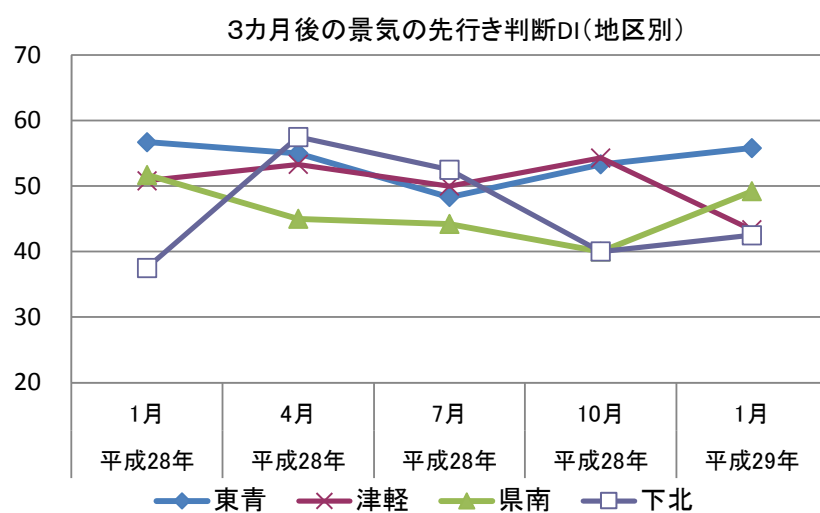
(2) 3カ月後の景気の先行き判断

<地区別>

①DI

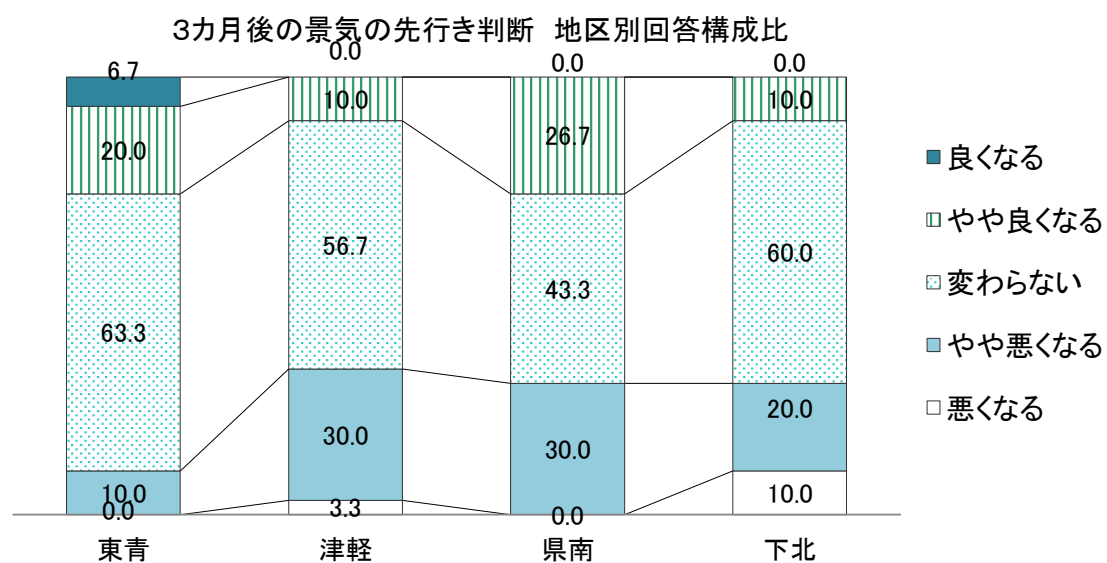
n = 100

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	51.5	51.8	48.0	48.2	48.8	0.6
東青	56.7	55.0	48.3	53.3	55.8	2.5
津軽	50.8	53.3	50.0	54.3	43.3	▲ 11.0
県南	51.7	45.0	44.2	40.0	49.2	9.2
下北	37.5	57.5	52.5	40.0	42.5	2.5



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北
良くなる	6.7	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	10.0	26.7	10.0
変わらない	63.3	56.7	43.3	60.0
やや悪くなる	10.0	30.0	30.0	20.0
悪くなる	0.0	3.3	0.0	10.0



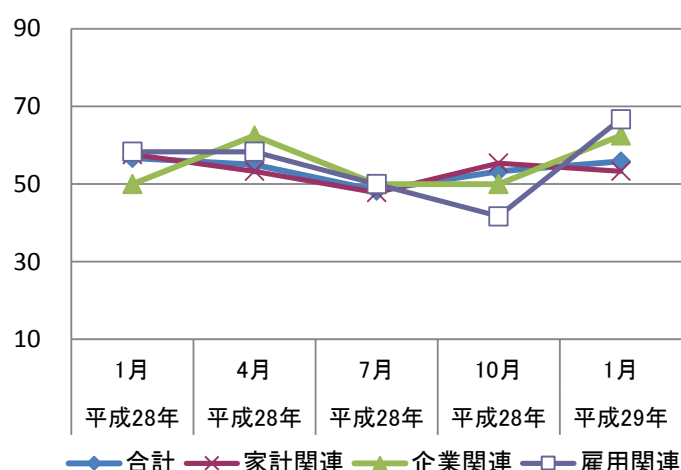
<東青地区>

①DI

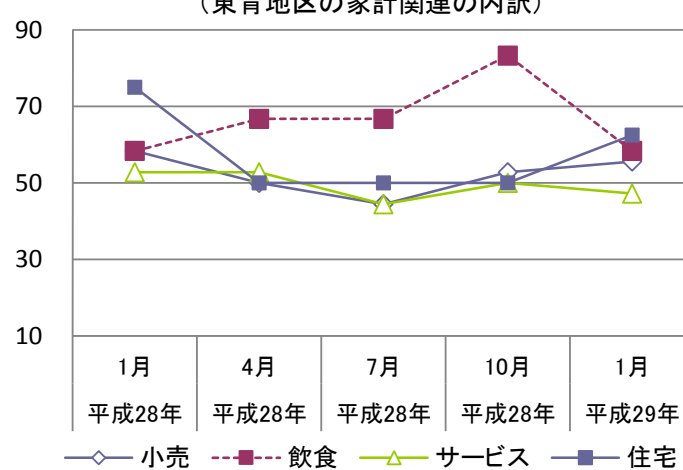
n = 30

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	56.7	55.0	48.3	53.3	55.8	2.5
家計関連	57.6	53.3	47.8	55.4	53.3	▲ 2.1
小売	58.3	50.0	44.4	52.8	55.6	2.8
飲食	58.3	66.7	66.7	83.3	58.3	▲ 25.0
サービス	52.8	52.8	44.4	50.0	47.2	▲ 2.8
住宅	75.0	50.0	50.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	50.0	62.5	50.0	50.0	62.5	12.5
雇用関連	58.3	58.3	50.0	41.7	66.7	25.0

3カ月後の景気の先行き判断DI(東青地区)



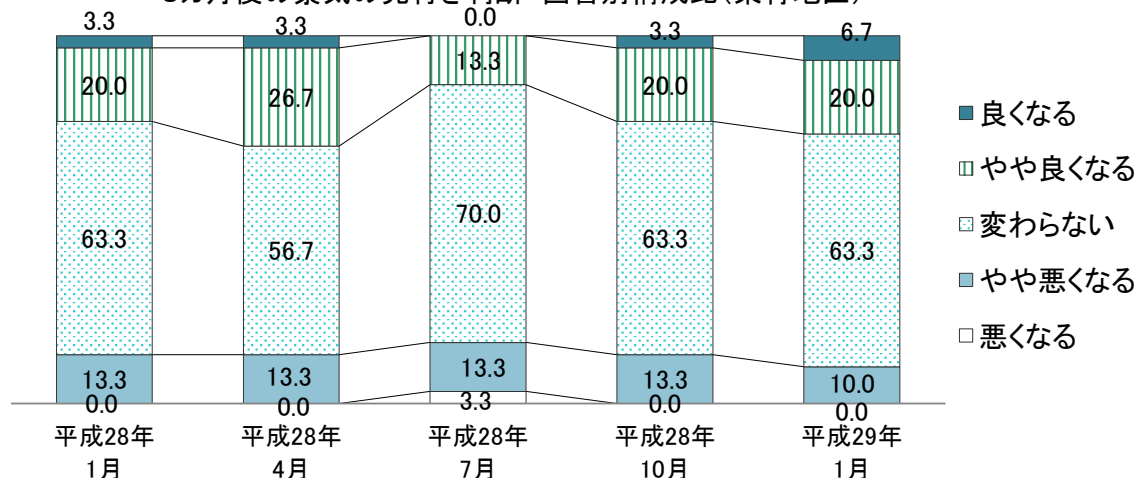
3カ月後の景気の先行き判断DI
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなる	3.3	3.3	0.0	3.3	6.7	3.4
やや良くなる	20.0	26.7	13.3	20.0	20.0	0.0
変わらない	63.3	56.7	70.0	63.3	63.3	0.0
やや悪くなる	13.3	13.3	13.3	13.3	10.0	▲ 3.3
悪くなる	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(東青地区)



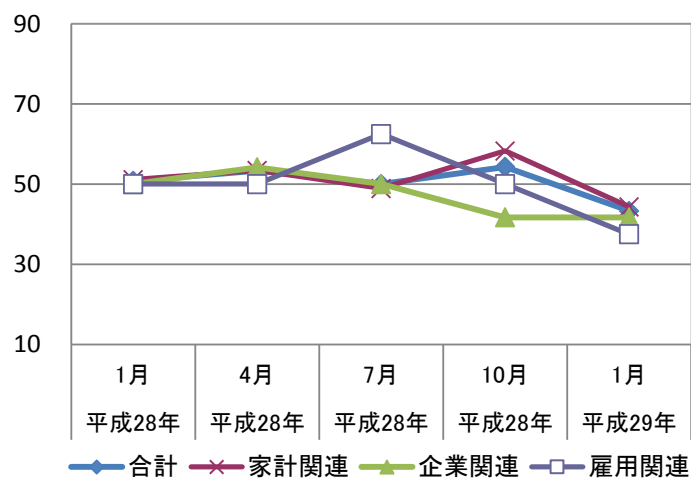
<津軽地区>

①DI

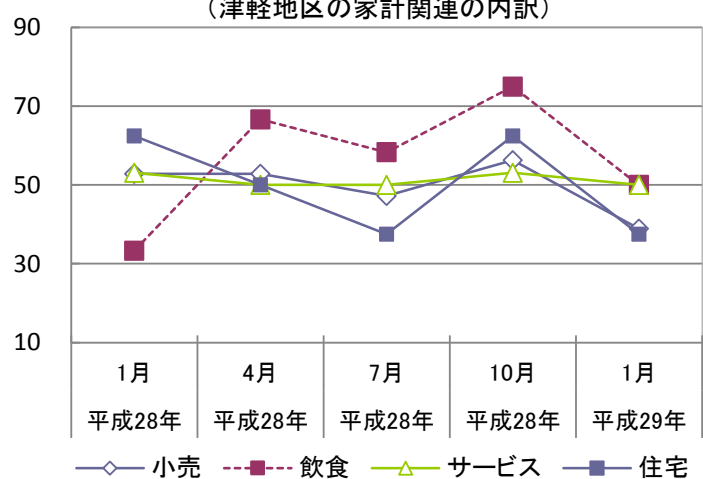
n = 30

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	50.8	53.3	50.0	54.3	43.3	▲ 11.0
家計関連	51.1	53.4	48.9	58.3	44.3	▲ 14.0
小売	52.8	52.8	47.2	56.3	38.9	▲ 17.4
飲食	33.3	66.7	58.3	75.0	50.0	▲ 25.0
サービス	53.1	50.0	50.0	53.1	50.0	▲ 3.1
住宅	62.5	50.0	37.5	62.5	37.5	▲ 25.0
企業関連	50.0	54.2	50.0	41.7	41.7	0.0
雇用関連	50.0	50.0	62.5	50.0	37.5	▲ 12.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(津軽地区)



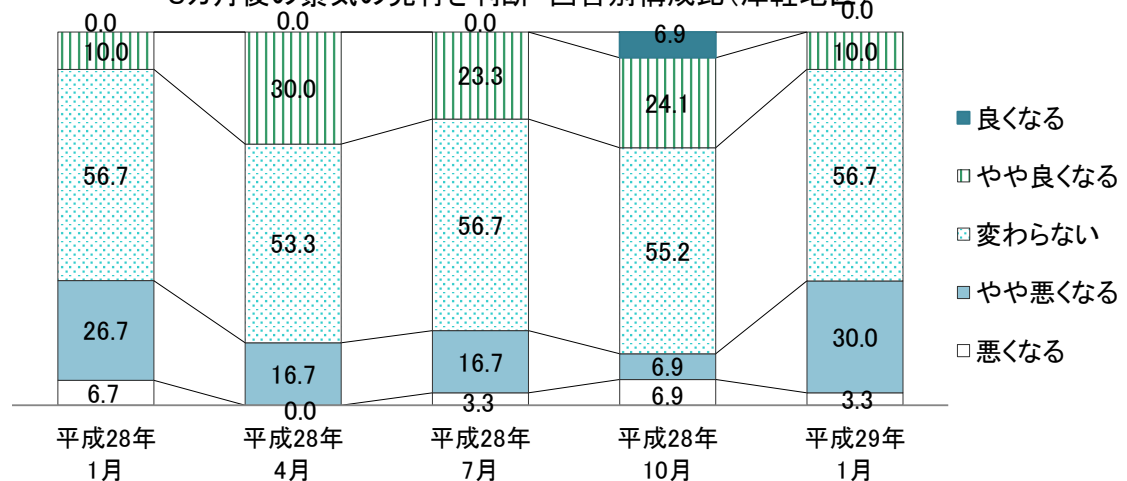
3カ月後の景気の先行き判断DI
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	6.9	0.0	▲ 6.9
やや良くなる	10.0	30.0	23.3	24.1	10.0	▲ 14.1
変わらない	56.7	53.3	56.7	55.2	56.7	1.5
やや悪くなる	26.7	16.7	16.7	6.9	30.0	23.1
悪くなる	6.7	0.0	3.3	6.9	3.3	▲ 3.6

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(津軽地区)



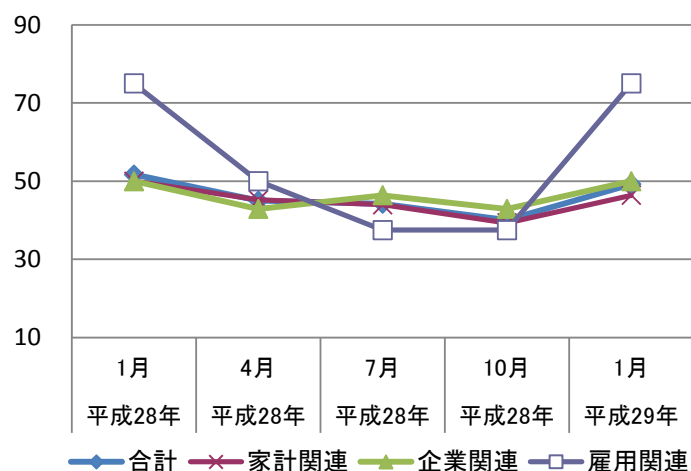
< 県南地区 >

① D I

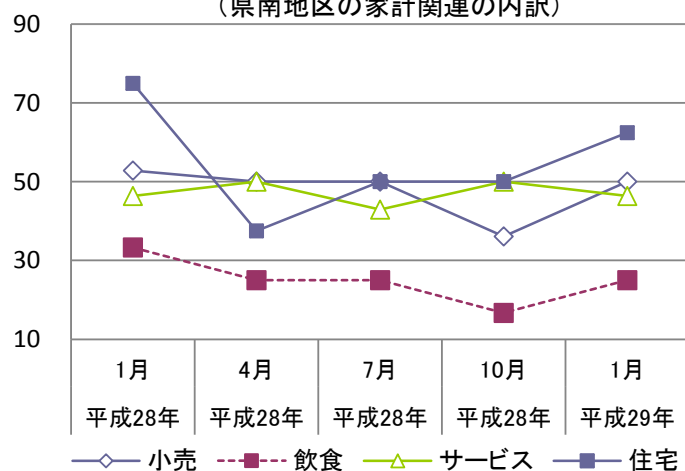
n = 30

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	51.7	45.0	44.2	40.0	49.2	9.2
家計関連	50.0	45.2	44.0	39.3	46.4	7.1
小売	52.8	50.0	50.0	36.1	50.0	13.9
飲食	33.3	25.0	25.0	16.7	25.0	8.3
サービス	46.4	50.0	42.9	50.0	46.4	▲ 3.6
住宅	75.0	37.5	50.0	50.0	62.5	12.5
企業関連	50.0	42.9	46.4	42.9	50.0	7.1
雇用関連	75.0	50.0	37.5	37.5	75.0	37.5

3カ月後の景気の先行き判断DI(県南地区)



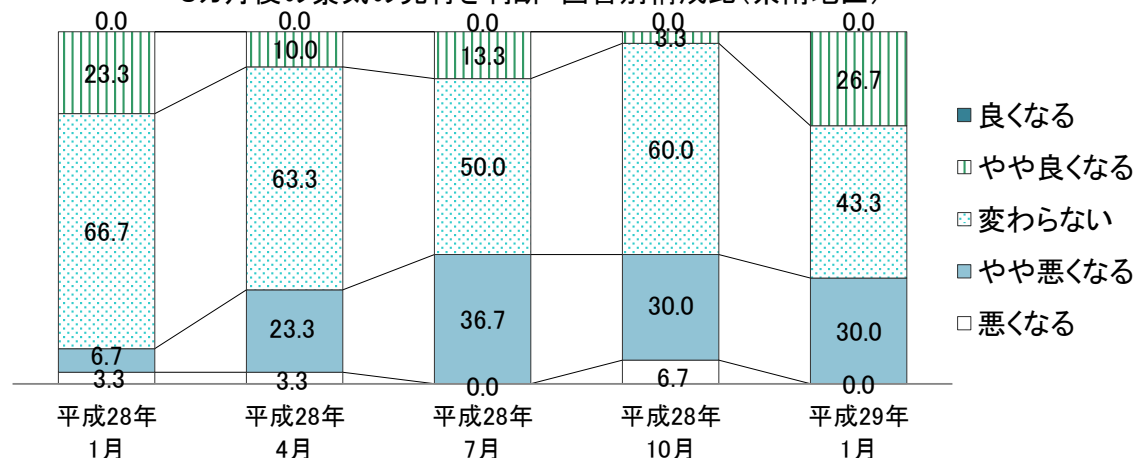
3カ月後の景気の先行き判断DI
(県南地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	23.3	10.0	13.3	3.3	26.7	23.4
変わらない	66.7	63.3	50.0	60.0	43.3	▲ 16.7
やや悪くなる	6.7	23.3	36.7	30.0	30.0	0.0
悪くなる	3.3	3.3	0.0	6.7	0.0	▲ 6.7

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(県南地区)



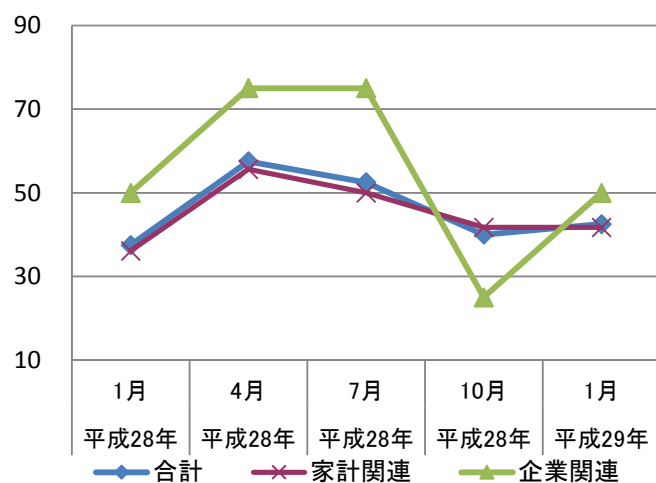
<下北地区>（参考）

①DI

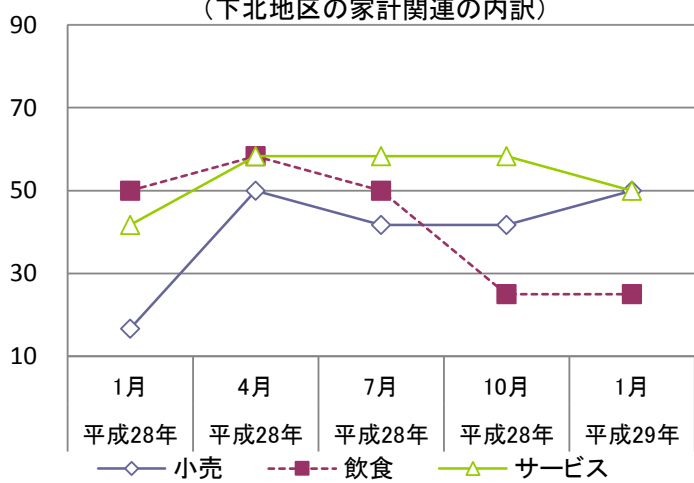
n = 10

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	37.5	57.5	52.5	40.0	42.5	2.5
家計関連	36.1	55.6	50.0	41.7	41.7	0.0
小売	16.7	50.0	41.7	41.7	50.0	8.3
飲食	50.0	58.3	50.0	25.0	25.0	0.0
サービス	41.7	58.3	58.3	58.3	50.0	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	50.0	75.0	75.0	25.0	50.0	25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3カ月後の景気の先行き判断DI(下北地区)



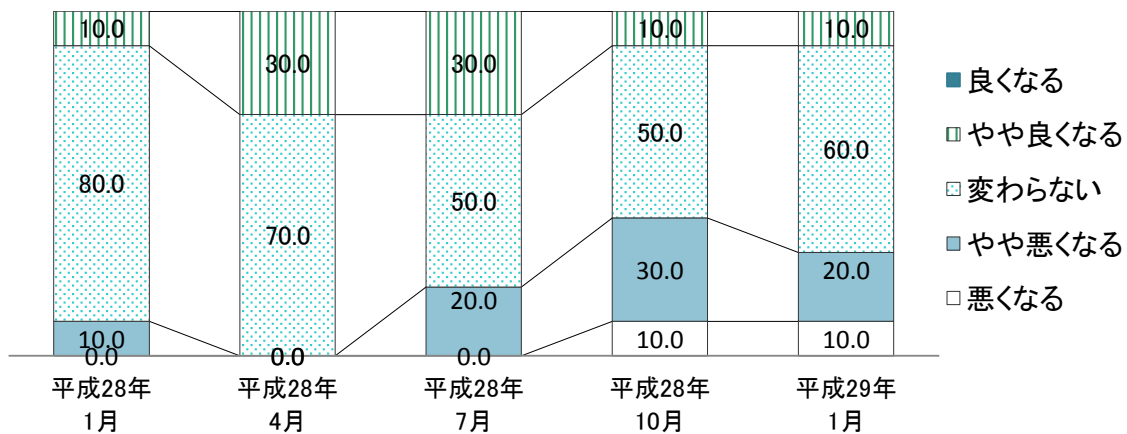
3カ月後の景気の先行き判断DI
(下北地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良くなる	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	30.0	30.0	10.0	10.0	0.0
変わらない	80.0	70.0	50.0	50.0	60.0	10.0
やや悪くなる	10.0	0.0	20.0	30.0	20.0	▲ 10.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0

3カ月後の景気の先行き判断 回答別構成比(下北地区)



4. 判断理由

(1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	一般飲食店	飲食業なので雪が少ないと比較的人が出て歩き易く、来店の数も例年の冬に比べ多いです。
	雇用	県南	人材派遣	一時期に比べ倒産などの件数が減少。人材採用や研修に力を入れる企業が増加しているように思われる。
やや良くなっている	家計	東青	観光名所等	28年7～9月期の入場者数は、前年比93.9%に対し、28年10～12月期は117.8%となった。台湾からのチャーター便が多数あり、入場者数増に寄与した。
		津軽	美容院	年々海外からの観光客が増えている。きちんとした形でお金を使っていただくことを市民が考えている。
			設計事務所	例年であれば、この時期は夏以降の設計物件が動き出します。例年よりは多少動きが多いと感じます。
			商店街	空き店舗が減った。組合員が増えた。正月イベントの1店舗当たり参加口数が増えた。
		県南	美容院	いつも使っている商品を定期的にお買い上げいただきながら、新製品にもかなり興味を持っている傾向にあります。安価な買い物より値打ちのある物に目が向いている様子です。
			観光名所等	客入数、売上共若干伸びつつあるため。
			一般小売店	11月、12月の売上がかなり悪かったので、その反動か、1月がまずまずのスタートで動き始めた。
		下北	タクシー	売上が良かった。
	企業	東青	食料品製造	価格の変動について文句を言う人が今のところ少ない気がする。
		津軽	電気機械製造	コネクタ部品の受注が旺盛なため。
		県南	広告・デザイン	3カ月前に比べてと言う設問だと期間が短く、回答しづらいですが、年末～年始時期の広告は必然的に発生するので、良くなって当然。
変わらない	家計	東青	旅行代理店	景気が良くなっている実感がない。
			百貨店	変わらず衣料品不振の中で、防寒品等の実需品が堅調に推移している。
			都市型ホテル	お客様の利用状況は例年並であるが、油関係や食材が上昇傾向にあり、不安要素もある。
			設計事務所	小雪によるメリット建築にあるので、平穏に推移しているように見受けられる。
			商店街	初売という一年を占う景況では、三が日は天候にも恵まれるなど、大型店を中心まずまずだったようです。しかし、それ以外ではこれといった好材料がなく、停滞しているように見受けられました。
			レストラン	年末、特にクリスマス期間は上手く日曜日が合い、自分たちは良かったと思うが、年明けにその反動が怖い。
			タクシー	特に目立って良い方向に向かっている話はお客様などからも聞かれないですし、自分もそう思います。
			スーパー	お客様の来店客数及び客単価に大きな変化はない。
			コンビニ	1人当たりの購入単価が変わらない。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	ガソリンスタンド	実質賃金は変わらないのに、教育やスマホなど特定分野には支出を惜しまないため、それ以外に支出が回らず全体的な消費は抑えられている。
			旅行代理店	当地方で大きな行事もなく、諸会合での情状も可もなく不可もなくです。
			百貨店	衣料品のダウントレンドが継続している。特に年代の高い層において、この傾向は強いと思われる。
			住宅建設販売	売上、棟数共に同時期の例年通りである。しかし、見込み客が少なくなっている様である。
			観光名所等	米国の動向、ヨーロッパの動向、中国・東アジア等世界の動向。青森県は日本原燃の安全対策費等で上向き、少子高齢化も一段と進行、チャレンジ精神で立ち向かう。
			衣料専門店	物価の上昇、ボーナス変わらず、ボーナスは消費より貯金。
			スナック	12月の売上げは伸びましたが、一時的なものです。年が明けたら、いつもと変わらない状況に戻りました。
		県南	百貨店	年末年始の商況は一部ショップの福袋やイベントは好調もクリアランスの動きが鈍く、全体的に盛り上がり欠けたため。
			設計事務所	諸外国の政治状況によると思う。特に米国トランプ大統領の出方、韓国大統領選挙によりどう変わるか不透明である。それにヨーロッパ各国で指導者が変わるかもしれないので、判らないと言うのが正直な気持ちです。言えるのは、昨年末の政府経済報告で、緩やかな回復基調が続いていると言っているが、H29年度予算案では、残念ながら、業績の減速を受け、税収の停滞予測した編成と成っており、政府自体を読めないのではないと思う。県はこういう事態を踏まえて、中小企業が直面している「人手不足への対応」を考えるべきであり、県内事業所の「後継者不足」を慎重に見極めていく必要があるのではないと思う。外貨の稼げる業種を支援していかなければならないのではないと思う。
			乗用車販売	自動車業界の視点から見ると、新型車の導入、自動ブレーキに対する興味、関心が高まり、景気回復が見込まれたが、利用者の高齢化、若年層の車離れなどにより、平均的な水準となっている。
			住宅建設販売	あまり良くなる要素が見えない。
			観光型ホテル・旅館	国内情勢よりも世界経済の先行きがやや不透明であり、読みづらい状況にある（米大統領、ヨーロッパ経済等）。
			家電量販店	客数の減少に歯止めがかからない。
			卸売業	格差が開いていて、若い人達の財布の紐が中々緩まない。景気に敏感な方にはお金を使えるのだろうが、そうでない人達は細々と暮らしている様に見える。
			レストラン	週末のお客様の入りはまずまずですが、平日に外食する人達が減ってきている。
			パチンコ	お客様に変化が見られない。
			タクシー	忙しかったのは年末と正月三が日、後は以前のように静かになった。皆さん、財布の紐が固い。
			コンビニ	中小企業が経営改善されておらず、そこで働いている人達の財布の紐は固いです。
			ガソリンスタンド	当地においては個人消費を大きく改善する要素が見当たらない。
		下北	都市型ホテル	冬場は宿泊客が落ち込む時期ではあるが、ほぼ前年並で推移している。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	下北	レストラン	売上、客数共昨年とあまり変わらない。
			スーパー	小さい街なので、競合店との奪い合いになっている。12月中旬～元旦は比較的良かったが、9～11月は変化なし・価格競争になっている。
			ガソリンスタンド	原発関連で働いている人達も岩手や福島に出稼ぎに行っている様では全く良くならないと思います。
	企業	東青	広告・デザイン	特段の大きな事業がある訳ではなく、個人消費も伸びてはいない。
			経営コンサルタント	りんごの高値が続いていることから、生産者が良いが、仲卸、加工業者に利益率の低下が見られる。年末ボーナスは前年比横ばいと見られた。六ヶ所原燃関係の工事に活気が見られている。
		津軽	広告・デザイン	受注物件の増加もなく、受注単価の増額傾向もない。やや悪い状況で良化していない。
			経営コンサルタント	特に良い変化が見られない。
			飲料品製造	市場の動向などに変化を感じられない。
		県南	電気機械製造	産業機器の生産や受注が堅調であり、円安などで先々の不安要因も少ないとの取引先や客先の様子です。
			建設	好転材料は何もないので、どちらとも言えない。少なくとも良くはなっていないと思う。
			経営コンサルタント	顧問先企業は皆頑張っているが、いい企業と悪い企業とに固定化されたように感じます。悪い企業は、いつまでも抜け出せず、いい企業も守りに入って新しい投資意欲が減退しているようだ。
			飲料品製造	日常の商品の動きは変わらずという雰囲気であるが、年末などの特徴ある盛り上がりが見られず、例年の傾向と同様。
		下北	食料品製造	特に消費動向に変化を感じないから。
	雇用	東青	人材派遣	毎年秋から冬にかけて、変化が出にくいと感ずるため。
			新聞社求人広告	有効求人倍率は良いかもしれないが、実感がない。
		津軽	新聞社求人広告	好材料に乏しいが、悪くはない。
		県南	新聞社求人広告	状況に変化なし。
やや悪くなっている	家計	東青	美容院	商品の売上が著しく低下している。
			住宅建設販売	毎年ですが、冬期間に入り、住宅需要が低下しているため。顧客の動きが鈍いため。
			卸売業	年末の売上が伸びなかった。昨年とは違った。
			衣料専門店	原因は分からないが横から上向き傾向だった景気感が急激に減退。
		津軽	卸売業	今年度の受注がほぼピークを過ぎたため。
			パチンコ	業界全体の客数が減ってきているから。

現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	スーパー	年末商戦において、高額商品の売数が減った。
		県南	旅行代理店	原油高で交通、トラック関係が弱くなっている。
			商店街	降雪が少なく、季節商品の動きが鈍い様に感じる。
			一般飲食店	経済状況（円安）が不安定で、諸物価が値上がり、各家庭が大変ではと感じられ、来店頻度が下がるのも一因か（天候状態にもよるが）。
			衣料専門店	12月はクリスマスやお正月用の出費が控えている為なのか、衣料品はバーゲンの下見客が多いように感じ、なかなかプロパーでは売れません。財布の紐が固い。
		スーパー	買い物の傾向から、無駄な買い物はしない（量目）、価格重視（グレードダウン）。	
	下北	一般飲食店	年末はいつもいづらか良かったですが、去年は全く良くなかったです。これからは益々悪くなると思います。	
悪くなっている	企業	県南	食料品製造	昨秋から冬に確保して今後使用する原料の不漁・小型化による仕入れ価格上昇、規格変更で製品原価は上昇。販売価格は据え置きや競争見積もりにさらされている。
	家計	東青	スナック	大企業は変わらず良いと思う。中小企業、又飲食業は良くならない。落差は仕方ないのでしょうか。期待して頑張っておりますが難しいです。
		津軽	一般小売店	10～12月が前年度に比べてかなり落ちている。
			ガソリンスタンド	歓楽街、以前は夜、駐車場が満車状態だったが、夏頃から満車になるのは珍しい。
		下北	一般小売店	年末商戦は盛り上がりには欠けました。例年より雪が少なく来店しやすい天気だったと思うのですが。
			コンビニ	天気や気温に大きく左右される。寒いと外出を控える人が多いと思う。年末年始以降かなり悪い。

(2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般飲食店	冬は分かりませんが、アウガ問題も前に進んでいますし、駅周辺に人が常時集まるとすると新町辺りも集客できるのではないかと思います。
	雇用	東青	人材派遣	春にかけて、雇用にも変化が大きく出るため。
やや良くなる	家計	東青	住宅建設販売	春に向けて住宅の需要が増加するという期待感を込めて。
			卸売業	やや良くなるに期待したい。
		津軽	美容院	桜祭り。
			観光型ホテル・旅館	2月に大鰐でインターカレッジのスキー大会が開催されるため、売上の20～23%増が見込まれる。
		県南	美容院	政府の予算配分や多方面の補助政策により、少子高齢化への配慮を感じて、安心感により消費にも安心感が影響する様に思います。
			住宅建設販売	春に向けて不動産の需要が通年は増えてくるから。
			一般小売店	良くなる確信などないが、対韓国の動き等を見ると今までにない外交姿勢が見えるから。
			卸売業	良くも悪くも、世界経済は上向きに推移するというニュースをよく聞く。青森にもその影響が少しずつ出てくるのではないかと希望する。
		下北	コンビニ	新生活が始まる頃なので、少しでも良くなると期待したい。
	企業	東青	食料品製造	購入意欲が少し出てきているように思う。
			建設	アメリカ同様に、期待値は上がっている。但し、実態は不明。
		県南	経営コンサルタント	八戸市の中核市への移行、三社大祭のユネスコ無形文化遺産登録、スケートリンク着工などプラスの材料が多い。これらをチャンスに結び付けられればいい。
	雇用	県南	新聞社求人広告	希望的観測もあるが、新幹線延伸から1年の北海道との相互交流や八戸市中核市移行などで。
			人材派遣	更に採用や研修（育成）に力を入れる企業が増加すると思われるので。
変わらない	家計	東青	スナック	全く見当が付きません。
			都市型ホテル	暖冬がレストラン等の客足には良い結果となっているが、季節商品を扱っているお客様にとっては死活問題であり、雪が降らないことがプラス要因かマイナス要因か何とも言えない。
			設計事務所	新年度発注される工事に期待感。
			スーパー	第一次、第二次産業の変化もなく、景気が良くなる部分は少ない。青森市の場合は、降雪量での景気の変化もあると思われるが、1月の降雪量では判断できない。
			美容院	収入に反映されない現状が長く、先行きに不安を感じている方々が多く見られる。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	東青	商店街	インバウンドで訪れる方が増加傾向にあるとはいえ、大型店や観光施設が中心で、なかなか中小店には波及効果が及ばない。
			タクシー	特に今後3カ月だけでなく、しばらくは景気の回復は見込めないと多くのお客様が話していましたし、自分もそう思います。
			コンビニ	公共事業等が増加するとは考えられないので変わらないと思う。
			パチンコ	正月は天気も穏やかであったせいか、来客数もやや多かったが、この先と言え、昨年から引き続き低いままの横ばい状態が続くと思います。
		津軽	スーパー	良くなる要素が見つからない。
			衣料専門店	農家（りんご生産者）はそれなりに所得が多いのですが、辛抱が優先の感あり。
			旅行代理店	小雪予想がどう影響するかによると思います。中国からのチャーター便も注目しております。
			観光名所等	全体的には明るい兆しなれど、地球温暖化で春先からの天候が心配。
		県南	乗用車販売	アメリカ情勢によって販売の動静も変化していくため。直近1年間におけるガソリン販売価格が上昇傾向にあり、消費者の購買意欲への不安材料になり得るため。連日報道される自動車事故により、自動ブレーキ付車が販売への好材料となり得る。
			家電量販店	新規の商品が出ない（BDレコーダーとか4Kテレビが出たような話題商品のこと）。
			設計事務所	判らないというのが本当の気持ちである。県は人口増加の施策を練らなければならない。
			コンビニ	3カ月先、何が変わると思えない。
			百貨店	将来への不安から高齢者も含めて全般的に財布の紐が固く、衣料品、服飾雑貨、生活用品等の高級品の動きが鈍く、食料品は低価格シフトが顕著で余分なものは買わないようになっているため。
			観光型ホテル・旅館	国内情勢よりも世界経済の先行きがやや不透明であり、読みづらい状況にある（米大統領、ヨーロッパ経済等）。
			観光名所等	商品に大きな変化がないため、このまま緩やかではないかと思われる。
			ガソリンスタンド	人口減少の影響、燃料費の上昇（ガソリン、灯油など）などの上昇要因により下振れの懸念の方が強い。
			旅行代理店	トランプ効果のプラスマイナス、原油価格のプラスマイナスとかが相殺。
		下北	タクシー	毎年、同じような気がします。
			都市型ホテル	宿泊及び婚礼、宴会等の予約状況は例年と変わらず。
			ガソリンスタンド	建設関係の人に今年は公共事業がまだ減りそうだと言っていました。
			スーパー	むつ市は赤字で、市の管理事業も縮小しており、また原燃事業も停滞しているので、良くなるとは思えない。漁業もイカの水揚げが激減などの不安要因あり。
	企業	東青	広告・デザイン	大きな案件もなく、消費の伸びも期待できない。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	東青	経営コンサル タント	現状を変えるような材料も見当たらない。
			広告・デザ イン	見込み物件数、見積り依頼件数が増加していない。又、発注主 からも毎回の様に予算が厳しくてという言葉ばかり。
			電気機械製 造	現在がピーク状況にあるため。
			飲料品製造	現在の経済状況の中で、良くなる、又は悪くなる要因が見当た らない。
		県南	電気機械製 造	一時の中国の急成長など大きな変化の要因が見当たらないた め、日本の製造業の受注は一定レベルを維持すると見られま す。営業状況も同様の話を聞いています。
			飲料品製造	堅調であると思うが、回復という見込みまで立たない。
			食料品製造	昨秋から冬に確保して今後使用する原料の不漁・小型化による 仕入れ価格上昇、規格変更で製品原価は上昇。販売価格は据え 置きや競争見積もりにさらされている現況に加え、輸入原料相 場が為替相場で良くなるか悪くなるか予想できない。
		下北	食料品製造	特に消費動向に変化を感じないから。
やや悪くなる	家計	東青	新聞社求人 広告	好材料が見当たらない。
			新聞社求人 広告	雪解けまでは現状と変わらないのでは。
		津軽	衣料専門店	この三か月、天候的にも恵まれ、自然災害もないのに売り上げ は記録的に悪かった。それを考えると将来の景気も悪いと言わ ざるを得ない。
			観光名所等	冬季の閑散期となることから、3カ月前との比較では入場者数 は落ち込むもの。ただ、例年の冬期間と比較して大きな増減要 因は見当たらない。
			レストラン	やはり年末に向け消費はあったと思うが、その反面、年明けは 財布の紐が固くなるのでは。
			住宅建設販 売	低金利の影響でのメリットで住宅を建てる人達が一段落した様 です。
			商店街	時期的に冬は来街者数が減る。トランプ大統領就任により日本 経済に与える影響がどのように動くかが見えないので不安であ る。天津チャーター便に期待。
			パチンコ	良くなる理由が見付からず。
		県南	ガソリンス タンド	オリンピック、被災地復興に人手が取られ、人手不足、人件費 上昇となかなか厳しい。
			コンビニ	雪の状況次第では良くなりそう。作業員が増えて人の動きがあ ると売上が上がる。
			レストラン	歓送迎会でお客様の財布の紐が緩くなるとは思えない。
			パチンコ	自分自身も景気が良くなると感じない。お客様も同じではない か。
			衣料専門店	八戸は人口が減り、街を歩いている人は高齢者ばかり。将来へ の不安が大きい為、良くなる要因が見つかりません。
			スーパー	米国の変化から良くなる状況は考えにくい。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	県南	一般飲食店	円安がこれ以上進んだ場合、相当家計が苦しくなり、それに伴い出費が抑えられ景気が悪くなるのではないかと懸念している。
			タクシー	春はどこでも新規の仕事を探す時期であるから。
		下北	一般小売店	1月20日に米大統領にトランプ氏が就任します。テレビ、新聞の報道は「トランプ新大統領で日本はどうなるのか」等の消費者を不安にさせる様な報道が多いと思います。お客様の購買意欲は報道内容に非常に左右される様な気がします。
	企業	県南	広告・デザイン	広告の場合、予算を年末年始で消化しているため一時的に停滞する。
			建設	高齢化の余波が目に見えない足音として聞こえてきている。街には老人の姿が多く、若者の姿をあまり見ない。若者の外出率が低下してきており、今後景気に大きな影響を与えてくるだろう。
	雇用	津軽	人材派遣	常勤職員の欠員後補充に非常勤で対応したいとの相談が顕著。安定した雇用が確保されないと実体経済は悪くなると思う。
悪くなる	家計	津軽	一般小売店	地方経済、特に青森県や秋田県が人口減少等により悪化している。
		下北	一般飲食店	日本のトップが変わらないうちは、良くなることはないと思います。良くなるとは思いたいですが、今の所はまるきり駄目だと思います。

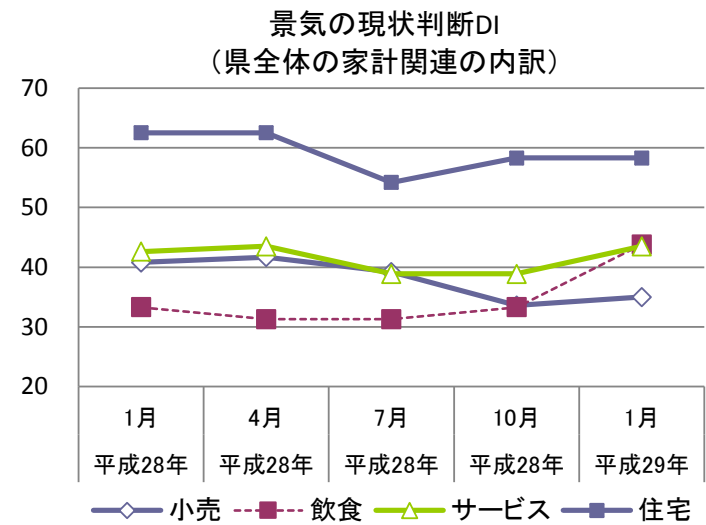
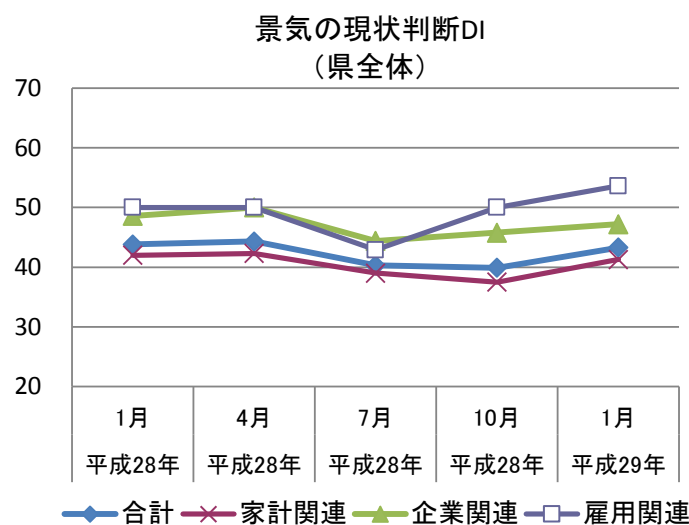
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

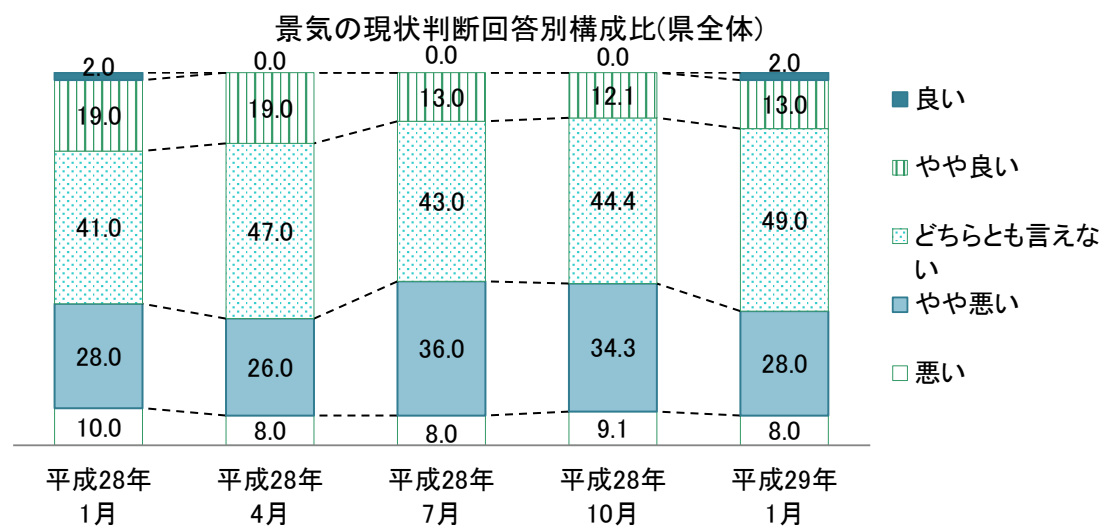
n = 100

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	43.8	44.3	40.3	39.9	43.3	3.4
家計関連	42.0	42.3	39.0	37.5	41.3	3.8
小売	40.8	41.7	39.2	33.6	35.0	1.4
飲食	33.3	31.3	31.3	33.3	43.8	10.5
サービス	42.6	43.5	38.9	38.9	43.5	4.6
住宅	62.5	62.5	54.2	58.3	58.3	0.0
企業関連	48.6	50.0	44.4	45.8	47.2	1.4
雇用関連	50.0	50.0	42.9	50.0	53.6	3.6



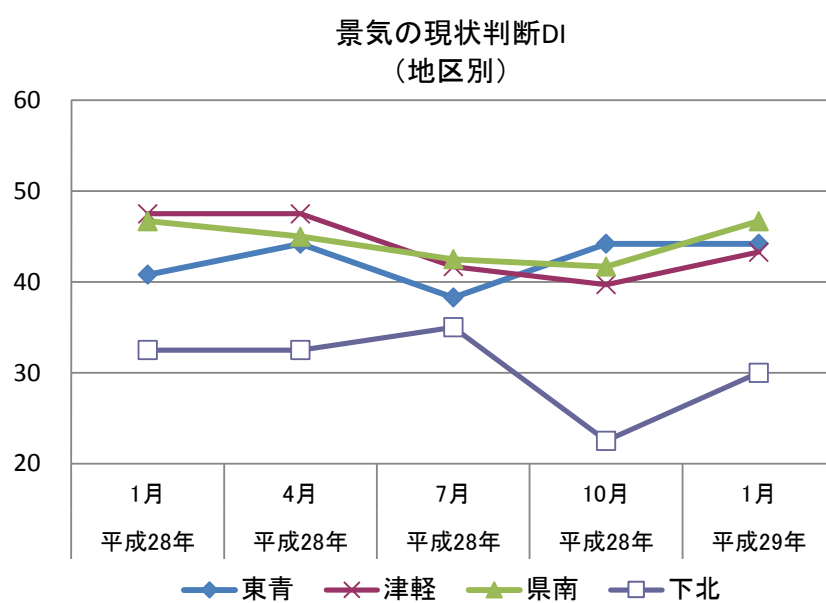
②回答別構成比 (%)

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
良い	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0
やや良い	19.0	19.0	13.0	12.1	13.0	0.9
どちらとも言えない	41.0	47.0	43.0	44.4	49.0	4.6
やや悪い	28.0	26.0	36.0	34.3	28.0	▲ 6.3
悪い	10.0	8.0	8.0	9.1	8.0	▲ 1.1



③地区別DI

	平成28年 1月	平成28年 4月	平成28年 7月	平成28年 10月	平成29年 1月	前期調査 との差
合 計	43.8	44.3	40.3	39.9	43.3	3.4
東青	40.8	44.2	38.3	44.2	44.2	0.0
津軽	47.5	47.5	41.7	39.7	43.3	3.6
県南	46.7	45.0	42.5	41.7	46.7	5.0
下北	32.5	32.5	35.0	22.5	30.0	7.5



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	衣料専門店	先の調査から一転して景気感が悪い。原因がつかめず非常に不安だ。市長選挙の影響は多分にあると思うが。その辺が原因だと先の景気は良好と見るが甘いか。
		一般飲食店	新市長になり、市政も若返り、良い方向に向かって欲しいですね。青森の活性化は市民みんなの取り組むべき課題です。県外へのアピールと日々の生活の中で自身が取り組むべきことをそれぞれやっていくことが基本です。新しい明日に向かいそれぞれ頑張しましょう。
		レストラン	世界情勢が混沌としている気が。若い人を見ると、消費するよりも貯蓄する傾向があるような気がします。これではいくら日銀や政府が経済対策を打出してもなかなか上向きにならないと思う。
		観光型ホテル・旅館	青森市の新市長が就任した事で、経済対策のスピードアップの期待感が高まった。観光誘客にも積極的に取り組んでもらいたい。
		観光名所等	台湾、中国を中心に外国人が依然として多い。青森、天津チャーター便の就航もあり、この傾向は当面続くものと思われる。
		美容院	「新青森駅にホテルや飲食店はないの」と県外の知人から言われた。早急な対策が必要だと思います。
	津軽	百貨店	1月から3月にかけて天津～青森定期チャーター便が運航との事。観光客の動向に興味があります。
		一般小売店	年輩の高級品を好む層が年々亡くなられたり、施設に入ったりで減ってきており、若い層は安い物を買う人たちが増えている。昔はブランド物で自慢したのが、若い人は安い物を安く買えたと自慢するそうです。
		観光型ホテル・旅館	冬の閑散期に天津から定期チャーター便で3,500人の宿泊予約が大規模施設利用との事。小規模施設としては、今後の定期便化が実現すれば、個人・グループ客を取り込めるのではないかと期待される。
		観光名所等	高齢者、1人暮らし、ケア施設がやたら増築された。サービスに大きな差があると聞く。
		ガソリンスタンド	新幹線が函館まで開通し、函館まで行く回数が増えましたか、などの質問は如何でしょうか。
	県南	スーパー	支出を抑制、節約の会話が多数。灯油、ガソリンの値上傾向が続いている（高止まり）。
		商店街	原油の値上がりがどうなるか気にかかる。
		卸売業	青森県も通過駅とならない為に施策をしなければいけない。北海道は有名なアーティストを迎え、コンサートとか開いていて、身の回りの人も北海道まで宿をとって出かけているのを見る。どんな事でもいいのでやってみてほしい。
		一般飲食店	行政の目線と民間の目線とでは、相当の開きがあるようだ（予算の使い方等）。
		観光型ホテル・旅館	顧客層の2極化が出ている。高単価の部屋の方が稼働が高く、景気の2極化が宿泊顧客の動きから感じられる。
		タクシー	八戸が中核市になったし、景気も少しでも良くなったらと期待。
		美容院	タンス預金が開放される様な企画は盛り上がると思います。心と懐にゆとりのある年金層の経済力をこれから大いに活用できたら、明るい毎日になれるそうです。
		ガソリンスタンド	各業界とも人手不足感が顕著。とりわけ若年層の確保が非常に難しくなっている。
		設計事務所	県は青森県の人口減対策を真剣に且つ早急に考えて欲しい。
	下北	コンビニ	慢性的な人手不足。人手不足のために経営困難な状態に陥る。
		スーパー	地元の事業者の高齢化で街が寂しくなっている。「まちゼミ」の取り組みが始まったが、良いことと思う。

分野	地区	業種	自由意見
家計	下北	タクシー	雪が少なく、スキー場へのお客様が無い。
		ガソリンスタンド	トランプ新大統領が就任することで為替がどうなるのか、原油がどうなるのか心配です。
企業	東青	建設	景気とは気持ちの問題であるとするならば、青森市も多少景気が良くなるのかもしれない。
		広告・デザイン	新青森市長が誕生し、経済界では期待感がある。
	津軽	食料品製造	最近は何でもインターネットで注文するのが増えている。地元で買わなきゃと思い、店に行ったが欲しいものがなくて、結局インターネットで買ってしまった。
		建設	アメリカ大統領が新しくなりますが、TPP問題等どうなるのか不安だ。自衛隊の南スーダンへの駆けつけ警護で青森の部隊が行っているが、これも心配だ。今年も心配事が多いが、酉年のように羽ばたいて元気になって欲しい。
		広告・デザイン	2020年東京オリンピックに向け今中央では建設ラッシュが始まり、宿泊施設の増改等、様々な関連業種がより多くの仕事をしようとしています。それに関連した資材の高騰等が無ければ良いが。
	県南	食料品製造	県南の駅の降車客はそれほど変わらないのに、以北に向かう乗客の多さが目立つ。
		飲料品製造	インターネットを利用したアンケートの形であればやりやすいし、結果的に経費もかからないのでは。字も読めない事もないでしょうし。
		電気機械製造	観光誘客の話題ばかり聞くが大丈夫でしょうか。北海道と違って資源も規模も格段に小さい青森が、ただ他の真似をして誘客しても戦略がなければ一周した後飽きられる。地道で長期の取り組みが見えないので心配になります。又、これを機にエネルギー産業や製造業などの地力を高める手を打つべきだと思います。多少は景気の良いうちに。
		建設	以前は、お正月前の買い出しでホームセンター等が賑わいを見せていたが、去年は休日でも人出が少なく、店内には活気を感じなかった。スーパーでの買い物かごを見ても、手料理を作る食材購入者が少なく、簡単に済ませる人が増えてきたと思う。
		経営コンサルタント	金融機関が、今まで無料だった給与振り込みなどにも手数料を要求するようになった。マイナス金利の影響であろうが、金融機関は金融で儲けて欲しい。
		広告・デザイン	アメリカ大統領が代わった以降、どのような変化が起こるか不安。
雇用	東青	人材派遣	他の地域に比べて、職種によって時給の変化が感じられず、業務量に対しての差別化もない様に感じる。
	県南	人材派遣	全国的に人材不足な点は変わらずだが、年齢層の上の方々の就業意欲はアップしているように感じる。